



伝統のデカンショ／民謡踊り 第68回観一祭にて（平成28年9月10日）

観一高同窓会員の皆様お元気ですかいつも同窓会活動に深いご理解とご支援を頂き感謝申し上げます。

おかげさまで本年度の総会については四九年次と六二年次の皆さんとの企画とお世話で見事に運営されました。昨年と同じく全国から四二一名の参加があり浜田知事も会場を見まわして「ほー」と声を出された程の満席で、観一高同窓会ならではの熱意と連帯の心が充満したすばらしいものとなりました。お世話くださった方々に改めて御礼を申し上げます。

支部と年次の組織が充実度を増し、会員の皆様が自主的に納入してくださる千円の会費が集まつて、二十七年度は五四〇万円となり収入の中心となつていて英基金や振興奨励費として生徒の支援に支出され、喜ばれています。今後も会費納入が増加することを心より期待しているところです。

さて、母校では二年前に落成した新校舎の西側から通路を繋いで『新体育馆』

同窓会長  
三宅昭二  
(観一昭28年卒)



# 觀音寺第一高校

# 同窗会報



平成28年度

香川県立  
観音寺第一高等学校  
同窓会

学校側の希望もあり、理事会、幹事会で協力して、二五〇〇円の募金目標を定めました。今年は創立百六周年なので、百二十周年を前倒しして行事計画を立てます。今年度のみで募金は、終了させます。百二十周年記念時には、改めて募金活動を行わないことを確認致しました。百二十周年行事の際に募金のみで不足する場合は、予備費から支出することとなつておられます。『百二十周年記念事業実行委員会』が立ち上がりました。この同窓会報がお手元に届く前に募金部会から趣意書が振込票なども発送されていると存じますが、事情のご理解とご支援をよろしくお願い致します。

今年は九州、熊本地方の大震災があり

い申し上げます。総会当日の義援金箱に本部会計より合算して五十万円を観音寺市社会福祉協議会を通して被災地へ支援致しました。一日も早い復興を切望いたします。

『学園の歌』のCDについては理事会で承認し東京支部の有志の方々が無償作製して本部へ五百枚送つてくださいました。おかげで本部総会に間に合いました。地方各支部ごとの総会のたびに説明してお持ち帰り頂き普及につとめているところです。

会員名簿の更新も行いました。今回は六年目の出版です。ご協力に感謝致します。

同窓会の自主的な参加、民主的な運営と観一の絆を大切に、私たちはお世話役の責を果たしたいと考えております。よろしくお願ひ申し上げます。

校長  
高井信一  
(観昭51年卒)



より本校の教育活動に多大な御支援、協力をいたたき、誠にありがとうございます。昨年度より各地で開催される同窓会支部総会に参加させていたたいておりますが、愛校心を持った皆様と直接学校のお話をしたり、励ましや昔話を直に聴いたりできることを本当に嬉しく感じております。今後とも積極的に参加し、皆様との親交が深められたら幸いに思います。さて、観音寺一高の現状ですが、今まで五年間の指定をいたたいたステップバイエンスハイスクール（SSH）事業は経過措置となりましたが、「科学教養」の授業や校内講演会、大学研究室訪問、東京研修、アメリカ研修等も継続して行い、特色ある取組みを進めております。これからも事業等を活用し、自分の生まされた地域を大切にすることも、国

で、陸上部活動におきましては運動部全国高校総体に、陸上部とアーチェリーボウルの選手が県代表としていわて国体に出場しました。学芸部では、広島県で行われた全国高校総合文化祭に邦楽部、書道部、写真部が県代表としていわて国体に参加するとともに、写真部は、北海道で行われた「写真甲子園」にも四国代表として出場するなどの活躍がありました。さらに、理数科の「科学探求」で取り組む課題研究においては、日本統計学会が主催する第5回スボーツデータ解析コンペティション中等教育部門に応募し、Jリーグサッカーリーグの試合データを分析した統計d.e サッカーリーII」が最優秀賞を受賞するなど、全国の舞台で観音寺一高の名前を高めてくれています。

今後とも、生徒の夢や目標を実現できる学校として運営してまいりますので、会員の皆様には、引き続き本校の教育活動に御理解、御支援を賜りますようお願ひ申し上げます。

# 観一高三年間が心の支え

観一高同窓会東京支部会長

玉尾 照平



に移り住み、あの113番元素でも有名になつた理化学研究所（東京都に隣接の埼玉県和光市）で仕事をしています。観一高のSSHの生徒さんたち三十名余が毎年見学に来てくれています。うれしいことです。

昨年十一月二十一日より、十四年間務められた白川文造前会長の後を受けて、観一高同窓会東京支部会長に就任いたしました。よろしくお願ひいたします。

観一高一九六一年（昭和36年）卒業の12回生です。母校の創立六十周年の記念すべき年度の卒業生であり、あの美しいエンタシスの門柱を備えた風格ある本館とそれに連なる木造校舎で学んだ最後の学年でもあります。卒業間近の一九六年明けから鉄筋コンクリートの新校舎建設が始まつたからです。その新校舎も、創立百十五周年の昨年度には更に立て替えられ、二代目鉄筋コンクリート新校舎になりましたね。卒業五十五周年を迎えた私たちは、「そなだ 鉄筋コンクリート校舎より、私たち人間の方が断然長生きなのだ！」という事を身をもつて実感し、観一36会同期生の絆を強めています。

京大工学部合成化学科で学び、そのままで助手、助教授、教授として京大に合計四十四年間いました。二〇〇五年に東京

有機合成化学が専門で、新しい反応の開発や特異な機能性物質を創りだす研究に取り組んできました。「クロスカップリング反応」や「玉尾酸化」とよんでいただいでいるような反応を見出してきました。これらの物質科学研究の原点は、観一高で学んだこと、特に、数学の川原先生や化学の近井先生をはじめ多くの素晴らしい先生方の導きがあつたからこそ、感謝しています。若い心に理系の灯をともしてくれたのだと思います。

そんなことも含めて、やはり我が人生の心の支えは、観一高の三年間にあるのだ、私たちの年代からするとわずかに5%にも充たない短い期間ですが、あの濃密な三年間こそが人生の宝物なのだ、との思いが年々強くなっています。そして同じ学び舎で過ごしたことを共有財産とする年代を越えた観一高同窓会の活動のお手伝いをさせていただきことに誇りと喜びを感じております。また、お会いしましょう！

## 昭和49年卒同期生会 過密スケジュール

（同窓会とその利用方法）

観一昭49年卒城戸一郎

平成27年7月から28年7月の一年間は、昭和49年卒同期生にとって、同窓会行事が過密スケジュールの一年間でした。我々還暦世代や今後増加する高年齢者に取つて余暇の充実方法の一つに同窓会・同期会の利用があります。

還暦旅行会の伊勢神宮参拝旅行をとの声もあり、現在検討中です。

若い同窓生諸君へ、特に大學生諸君に提案があります。大学生諸君にとって就職活動は、時間と労力を費やす重要課題になつています。そこで同窓会の利用を提案します。

同期生同窓会と伊勢への還暦旅行会、そして28年度同窓会総会の年次当番が重なつたためです。あと一つは城崎への旅行会です。伊勢への還暦旅行会にて、お互いの変容に驚きつつ、旧交を温め盛り上がり、次回旅行会を企画せよとの要望がありました。

そこで、同期生の一人、真野毅氏が副市長として活躍中の兵庫県豊岡市にある城崎温泉への旅行会が企画され、真野氏の手厚い配慮により充実した旅行会となりました。各行事を取り纏めたクラス幹事会に、松山から観音寺までほぼ毎回参加の斎藤泰近氏のような熱心なメンバーや、世話役をしてくれる長船光

各クラス幹事諸氏のおかげで四つの行事に、地元を始め、延べ二〇七名の参加がありました。我が母校観一校のために、とにかく自分たちが楽しくやつていこう！思ひ起こせば、昨年の総会に参加させて頂き、右も左も分からず、当番年次の役目をどうやって進めていたらしいのやら不安を抱えてスタートしたのがとても懐かしく思い出されます。それから一年間かけて、同級生との接点を広げながら定期的に集まっていろんな意見を交え、時には昔話に花を咲かせて準備を進めてきました。地元在住のメンバーはもちろん、遠くからも駆けつけて協力してくれるのは同級生ならではの熱き友情の存在でした。総勢一八〇名以上が参加した新年の同窓会や龍踊り連の結成が私たちの結束を強くし、当日本番では各自の役割を大いに發揮することができ、私たちももちろん総会参加者の皆様にも存分に楽しんで頂いたものと思います。このような機会をはじめて頂きました諸先輩方をはじめ、三宅同窓会長をはじめ事務局スタッフの皆様、観一校の諸先生方、本当にありがとうございました。昭62年卒一同、観一卒業生としての誇りを忘れずにこれからも頑張つてまいります。

## 熱き友情

観一昭62年卒川人裕一郎

私が母校観一校のために、とにかく自分たちが楽しくやつていこう！思ひ起こせば、

とにかく自分たちが楽しくやつていこう！思ひ起こせば、

## 平成27年度 収支決算報告書 (平成27.4.1~平成28.3.31)

## 1. 収入の部

項目	予算額	決算額	摘要
繰越金	516,238	516,238	平成26年度からの繰越金
入会金	759,000	756,000	3,000円×252名(全245+定7)
会費	5,500,000	5,407,000	5,406口(郵便局3,553,コンビニ1,853)
雑収入	24,762	194	利息
合計	6,800,000	6,679,432	

## 2. 支出の部

項目	予算額	決算額	摘要
会議費	20,000	20,568	理事会・幹事会
広報費	610,000	587,933	会報印刷、会員章、ホームページ管理費
調査費	15,000	14,560	住所調査(はがき卒業時)
振興奨励費	1,600,000	1,200,540	部活動振興奨励、SSH生徒派遣援助
育英基金繰出	500,000	500,000	
旅費	200,000	181,850	各支部総会出席旅費
事務費	770,000	748,021	会費納入事務費、通信費、総会資料
同窓会報等委託料	1,200,000	1,133,325	
同窓会報郵送費	1,400,000	1,351,664	郵送費1,350,464円(64円×21,101)運送費1,200円
慶弔費	230,000	248,640	支部総会祝金、小野賢治顧問御悔
雑費	30,000	20,230	街路灯電気代、卒業アルバム
予備費	225,000	112,857	絵画額縁、会員名簿用写真、総会不足分
合計	6,800,000	6,120,188	

## 3. 収支決算

収入決算額	支出決算額	差引残高
6,679,432	6,120,188	559,244

年度末残高 559,244円(百十四銀行 普通預金)

## 4. 積立基金 15,038,689円

百十四銀行	4,858,090円	(定期預金)
観音寺信用金庫	5,053,872円	(定期預金)
ゆうちょ銀行	5,126,727円	(定額貯金)

## 5. 平成27年度香川県立観音寺第一高等学校同窓会育英基金

## 収入の部 支出の部

項目	決算額	摘要
繰越金	3,643,894	
27年度繰入金	500,000	
利息	555	
合計	4,144,449	

年度末残高 3,416,673円(百十四銀行 普通預金)

## 監査報告

関係諸帳簿について、監査の結果、正当と認めます。

平成28年4月6日

監査	：	・	・	・
監査	：	・	・	・
監査	：	・	・	・

## 平成28年度 同窓会役員

(平成28年10月1日現在)

会長 三宅 昭二(観一28年卒)	藤川 小枝子(観一28年卒)	平口 照明(観一49年卒)	鴨田 英作(観一29年卒)	藤川 剛(観一50年卒)
副会長 玉尾 眞平(観一36年卒)	大西 照男(観一34年卒)	乾 宗昭(観一37年卒)	鱈目 慶子(観一29年卒)	久保 明子(観一50年卒)
片桐 陽(観一34年卒)	新居ミチヨ(観一32年卒)	山下 勝(観一31年卒)	大西 馨(観一30年卒)	朝倉 一郎(観一51年卒)
大久保健二(観一41年卒)	高橋 勝久(観一35年卒)	岡子 鎮雄(観一42年卒)	藤村 桂子(観一30年卒)	秋山 雄子(観一51年卒)
片山 葉子(観一48年卒)	齊藤 尚子(観一35年卒)	新延 修(観一40年卒)	高井 有遠(観一31年卒)	宇賀 光伸(観一52年卒)
藤村 育雄(観一50年卒)	横山 耕三(観一43年卒)	福岡 敦(観一28年卒)	篠原 益子(観一31年卒)	小見山順子(観一52年卒)
越田 洋子(観一59年卒)	石黒 栄子(観一43年卒)	篠原 公七(観一42年卒)	西川 友之(観一32年卒)	原 将嘉(観一53年卒)
顧問 近井 安雄(三中15年卒)	渡辺 究(観一46年卒)	清水 茂昭(観一45年卒)	新居ミチヨ(観一32年卒)	池田智香子(観一53年卒)
松繁 壽義(三中23年卒)	富田 真弓(観一46年卒)	池田 享子(観一42年卒)	高嶋 瞳徳(観一33年卒)	菅 徹夫(観一54年卒)
真鍋 賢二(観一29年卒)	菅 徹夫(観一54年卒)	吉田 好光(観一26年卒)	菅 美枝子(観一33年卒)	宮下 雅子(観一54年卒)
月原 茂皓(観一30年卒)	宮下 雅子(観一54年卒)	藤田 芳廣(観一34年卒)	大西 照男(観一34年卒)	香川 政人(観一55年卒)
森 喬規(観一30年卒)	奥田 拓己(観一57年卒)	山下 文則(観一30年卒)	柴尾 佳子(観一34年卒)	高木 浩子(観一55年卒)
大山 啓(観一33年卒)	丸尾 聰子(観一57年卒)	矢野光一郎(観一36年卒)	高橋 勝久(観一35年卒)	菅 幸二(観一56年卒)
岡下 信子(観一33年卒)	吉田 章作(観一60年卒)	松田 時恵(観一41年卒)	斎藤 尚子(観一35年卒)	成行真由美(観一56年卒)
浜田 恵造(観一46年卒)	高橋 和江(観一60年卒)	林 茂樹(観一35年卒)	小野 泰光(観一36年卒)	奥田 拓己(観一57年卒)
支部理事 萩木 教晶(観一42年卒)	監査 石川 義昭(観一30年卒)	辻 演美(観一35年卒)	平岡 育子(観一36年卒)	藤田 薫(観一58年卒)
高橋 憲一(観一38年卒)	宇賀 康雄(観一33年卒)	阪上 耕造(観一36年卒)	篠原 正憲(観一37年卒)	昌山 恵子(観一58年卒)
佐川弘治郎(観一40年卒)	小西裕美子(観一41年卒)	合田 俊典(観一36年卒)	石川 景子(観一37年卒)	小畠孝一郎(観一59年卒)
宮本 成雄(観一49年卒)	支部幹事 森 健二(観一28年卒)	合田 寛(観一44年卒)	請川 満之(観一38年卒)	塙田 聖子(観一59年卒)
合田 耕三(観一46年卒)	村上 重明(観一30年卒)	大西 章博(観一33年卒)	吉田千恵子(観一38年卒)	吉田 章作(観一60年卒)
横田 英樹(観一31年卒)	森本 克子(観一36年卒)	安藤 重明(観一39年卒)	三谷 利憲(観一39年卒)	高橋 和江(観一60年卒)
三野 未見(観一44年卒)	大西 寛文(観一39年卒)	年次幹事 高橋益二郎(三中12年卒)	川上 裕子(観一39年卒)	石川 義和(観一61年卒)
辻 豊昭(観一27年卒)	森川 和則(観一36年卒)	田代 浩二(三中15年卒)	新延 修(観一40年卒)	渡邊久美子(観一61年卒)
小林 茂文(観一44年卒)	高畑 純志(観一37年卒)	岸上 智(三中17年卒)	中野 慶子(観一40年卒)	川人裕一郎(観一62年卒)
平口 照明(観一49年卒)	佐川弘治郎(観一40年卒)	安藤 恒良(三中23年卒)	請川 裕之(観一41年卒)	白川 泉(観一62年卒)
乾 宗昭(観一37年卒)	滝本 清文(観一40年卒)	守谷 保子(三女20年卒)	小西裕美子(観一41年卒)	河田圭一郎(観一63年卒)
安藤 憲章(観一26年卒)	宮本 成雄(観一49年卒)	大西 芳子(三女21年卒)	石黒 栄子(観一43年卒)	白川恵理子(観一63年卒)
新延 修(観一40年卒)	合田 耕三(観一46年卒)	高橋登喜子(三女22年卒)	黒田 俊(観一44年卒)	事務局長 真鍋 茂明(観一44年卒)
篠原 公七(観一42年卒)	中谷 剛(観一41年卒)	森 澄子(三女23年卒)	田岡 厚子(観一44年卒)	事務局次長 田中 英昭(観一45年卒)
篠原 正憲(観一37年卒)	三野 未見(観一44年卒)	宮崎ツタ子(三女24年卒)	高橋 昭哲(観一45年卒)	徳善 久人(観一47年卒)
尾崎 裕澄(観一29年卒)	綾 婦美子(観一34年卒)	奈尾 数美(伴女24年卒)	高岡 令子(観一45年卒)	事務局 事務局
林 茂樹(観一35年卒)	小笠原晶子(観一32年卒)	土井 義晃(観一25年卒)	渡辺 究(観一46年卒)	*貞廣 敦夫(観一56年卒)
阪上 耕造(観一36年卒)	田渕 淳三(観一41年卒)	河野 良子(観一25年卒)	富田 真弓(観一46年卒)	会計 高橋 司枝(観一42年卒)
大西 章博(観一33年卒)	辻 豊昭(観一27年卒)	森 旭(観一26年卒)	山西俊一郎(観一47年卒)	
年次理事 秋山 和生(三中20年卒)	小林 茂文(観一44年卒)	高橋 幸男(観一27年卒)	高橋 和子(観一47年卒)	
森 澄子(三女23年卒)	石井 清満(観一34年卒)	安藤 邦枝(観一27年卒)	渡辺 勝芳(観一48年卒)	
土井 義晃(観一25年卒)	長船 光生(観一49年卒)	豊浦 邦明(観一28年卒)	片山 葉子(観一48年卒)	
	川崎裕紀子(観一51年卒)	藤川小枝子(観一28年卒)	長船 光生(観一49年卒)	
			大森 久子(観一49年卒)	(卒年は全て昭和)
				*学校同窓会係

支那  
だより

平成二十七年度の東京支部総会で、同支部会長に玉尾皓平氏（観光部がスタートしました。併せて、事務局も移転しました（左記）。平成二十八年度東京支部総会は

平成二十六年度東京支部総会は  
十一月十九日（土）十一時半から  
霞が関ビル三十五階の東海大学校  
友会館で開催します。当番幹事は  
観一33回（昭和57年卒）の皆さん  
です。

事務局 東京都新宿区百人町  
一・五・二・一〇・六牧事務所内  
電話 (FAX兼)  
〇三・六四五七・六〇七七  
ホームページ <http://kan1.jp>



## 東京支部の新しい執行部の紹介、右端が玉尾会長

京阪神支部

平成二十八年度支部総会は十一

七月二日、岡山市内のホテルで支部総会を開催し、三宅本部会長高井校長ら九人のご来賓を含め四十五人が出席。

岡山支部



バンド・メイヤーズの演奏 (平成27年度京阪神支部総会)

高松支部

高松支部の活動内容と近況報告  
同窓会の皆様、今年は大変暑い  
日が続いておりますのでお体の体  
調管理に苦労されていると思いま  
す。無理をされず、焦らずゆつく  
りと過ごされるのが何よりと思  
います。

高松支部は七月二十三日に、支  
部役員会を株ティネットジャパン  
の高橋先輩の事務所の会議室をお  
借りして、三十名近くの方に集ま  
つていただき開催しました。十月  
一日に行われる支部総会の内容に  
ついていろいろとご意見をいたしま  
きました。高松支部総会は年に二  
度、同窓会の皆さんが出まつて樂  
しい、懐かしい会を提供できるよ

丸龜支那

三豊・観一丸亀支部同窓会を平成二十八年九月十八日(日)、オーデクラホテル丸亀にて開催しました。当団は、同窓会本部から三宅会長真鍋事務局長、徳善事務局次長学校からは高井校長を来賓としてお迎えし、会員は十三名が参加されました。総会に引き続いて開催された懇親会では、和気あいあいとした雰囲気の中、近況報告やゲーム大会などで楽しく有意義な時間を過ごしました。

なお、総会では、次の通り、役員を選出・決定しました。また平成二十九年度は、九月二十三日

觀音寺支部

当 日、観音寺の名物行事「ふれあい夜市」と重なりましたが、懇親会の企画・進行を若手理事さんが引き受けたござり、例年とは一味違つた余興が楽しめました。三宅会長、高倉教頭、真鍋事務局長の出席をたまわり、多数の会員と共に秋の夜長を楽しみました。今後ともよろしくお願ひします。

月十二日(土)十一時から阪神尼崎駅近くの「都ホテルニューアルカイック」(前年と同場所)で開催します。今年の当番年次幹事は20回と21回の皆さんです。またH8年卒・植木陽史氏夫妻の太鼓・三味線演奏があります。ご期待ください。

長、尾崎敏文氏（岡山大病院副院長）の話に耳を傾け、懇親会ではカラオケもあり楽しい時間を過ごしました。

三月二十六日には十七人が参加して「天空の城」備中松山城を訪ねる史跡巡りをしました。これら行事を載せた「岡山観」だより「第五号七月に発行しました。事務局 滝本清文（観一昭40年卒）

・日時　十月一日(土)十五時三十分  
・場所　開会十八時半ごろまで  
J.R.ホテルクレメント高松  
・会費　三階(八七八二一二一)  
男性七〇〇円 女性六〇〇円  
・会長　合田耕三(観一昭46年卒)

事務局	理事	副会長	(主)開催予定です。
土井尾	村山美恵子	宮西正志	三野矢野未見
白川	文子	芳樹	末見
田尾			
理裕			
秀清			
浩浩			
観			
観			
観			
観			
観			
観			
観			
一			
55	55	55	42
年	年	年	年
卒	卒	卒	卒

## 詫問支部

(日)十一時から仁尾町のはやしやさんで、本部から三宅会長、母校から藤原裕樹教頭先生、横山忠始三豊市長のご出席をいただき、地元会員二十二名の参加を得て開催いたしました。議事の後、記念写真撮影、懇親会をもち、楽しいひと時をすごしました。

事務局 矢野光一郎 (観一昭36年卒)  
仁尾支部  
昨年の支部総会は十一月十五日(日)十一時から仁尾町のはやしやさんで、本部から三宅会長、母校から藤原裕樹教頭先生、横山忠始三豊市長のご出席をいただき、地元会員二十二名の参加を得て開催いたしました。議事の後、記念写真撮影、懇親会をもち、楽しいひと時をすごしました。

## 山本支部

充実のために何ができるか協議がなされ、私達高瀬支部においても、その充実発展に鋭意・支援・協力していくことで一致し、尽力していくことになりました。

支部役員会・総会を今秋開催予定。

しばらく総会をしておりませんでしたが、今秋、山本町内で開くことを決定し、役員の間で期日、内容等を協議中です。

平成二十八年度支部総会は、十一月十三日(日)に、大野原町総合福祉会館にて開催する予定です。

大野原町総合福祉会館で開催しました。三宅会長など本部役員に加えて特別来賓としてフリーアナウンサーで、香川県情報発信企画参与を委嘱され、地元ラジオ放送でおなじみの植松おさみ氏をお招きして、放送にまつわる楽しく、日頃はかけない裏話などをお話しいただきました。講演会の後は、講師も交えての楽しい懇親会となり、懇睦を深めました。

平成二十七年度の総会は、平成二十八年一月二十八日に高松市内で開催しました。来賓として、三宅同窓会長や真鍋事務局長、浜田知事や県議会議員の先生方などに出席していました。

## 県庁観一會

日亭(三野町)において支部総会を開催しました。三宅会長など本部役員に加えて特別来賓として「学園の歌」の作詞者柳川邦衛氏(豊中町出身)が出席してください、五十人余の参加者にとって大変有意義な総会となりました。

でも、若手会員(現役組)の参加が少ないので気がかりです。今後の課題と考えています。



き、同窓会で深めました。総会での高井校長先生からは、母校の近況報告を受けた後、参加者全員で校歌を合唱し、母校愛を確認しました。

大野原町総合福祉会館で開催しました。三宅会長など本部役員に加えて特別来賓としてフリーアナウンサーで、香川県情報発信企画参与を委嘱され、地元ラジオ放送でおなじみの植松おさみ氏をお招きして、放送にまつわる楽しく、日頃はかけない裏話をお話しいただきました。講演会の後は、講師も交えての楽しい懇親会となり、懇睦を深めました。

平成二十八年度支部総会は、十一月十三日(日)に、大野原町総合福祉会館にて開催する予定です。

会長 篠原公七 (観一昭42年卒)  
事務局 森 賢晃 (観一昭54年卒)

会長 安藤憲章 (観一昭26年卒)  
事務局 山本 明 (観一昭43年卒)

平成二十八年度支部総会  
とき 平成二十八年  
四月二十三日(土)

ところ 豊浜公会堂  
出席者 九十名

会長 阪上耕造 (観一昭36年卒)  
副会長 合田 寛観 (観一昭44年卒)

役員

九十九名

会長

平成二十八年  
四月二十三日(土)

会長 阪上耕造 (観一昭36年卒)  
副会長 合田 寛観 (観一昭44年卒)

役員

九十九名

会長

平成二十八年  
四月二十三日(土)

# 母校だより

「母校だより」の校訓のもと、伝統である質実剛健の気風の中、勉学に、部活動に励んでいます。以下に、学校行事、大学合格状況、部活動の成績を挙げてみます。

## 1. 学校行事

- 4月 入学式、生徒総会
- 5月 体育祭、一学期中間考查
- 6月 修学旅行、県高校総体、野球定期戦
- 7月 加藤杯大会、一学期期末考查
- 8月 SSH自然体験研修
- 9月 観一祭
- 10月 芸術鑑賞、二学期中間考查、生徒総会
- 11月 SSH海外科学体験研修
- 12月 二学期期末考查、加藤杯大会
- 2月 学年末考查、ロードレース大会
- 3月 卒業式、加藤杯大会



生徒教養講座 NHKニュースウォッチキャスター  
河野憲治氏（観一昭56年卒）講演  
演題「伝える仕事」 2016年4月24日



SSH海外科学体験研修 NASAジェット推進研究所(JPL)  
2015年11月19日

## 2. 大学合格状況

( ) 内は過年度生

筑波大	2 (1)	自治医科大学	1 (1)
千葉大	1 (1)	青山学院大	1 (1)
東京大	1 (1)	上智大	1 (1)
横浜国立大	1	中央大	3 (2)
静岡大	1	東京理科大	3 (3)
大阪大	3 (2)	日本大	4 (3)
大阪教育大	1	法政大	5 (2)
神戸大	2 (1)	明治大	9 (6)
鳥取大	2 (1)	立教大	2 (1)
島根大	1 (1)	早稲田大	7 (1)
岡山大	10 (2)	京都産業大	11 (2)
広島大	8 (4)	京都女子大	5 (1)
山口大	3 (2)	同志社大	11 (4)
徳島大	9 (1)	立命館大	32 (17)
香川大	18 (5)	龍谷大	20 (6)
香川大(法)	3 (1)	関西大	10 (5)
香川大(経)	3	近畿大	32 (18)
香川大(教)	5 (1)	関西学院大	13 (4)
香川大(農)	3 (1)	神戸学院大	1 (1)
香川大(工)	1	神戸女学院大	2
香川大(医・医)	1 (1)	神戸女子大	2
香川大(医・看護)	2 (1)	川崎医療福祉大	4
愛媛大	12 (5)	清心女子大	3
高知大	3	広島国際大	7 (2)
九州工大	1	徳島文理大	12 (2)
長崎大	1 (1)	高松大	1
◇ 国立大小計	80 (28)	四国学院大	6
高崎経済大	1	松山大	5
大阪市立大	2 (2)	その他の私立大学	96 (27)
大阪府立大	1 (1)	◇ 私立大計	308 (109)
兵庫県立大	1	◇ 国公立短大計	0
神戸市外大	2	◇ 私立短大計	8
県立広島大	4 (2)	◇ 準大学計	0
下関市立大	1	◇ 各種学校計	16 (2)
香川保健医療大	4	国立台湾大学	1
高知県立大	4	◇ 海外の大学計	1
北九州市立大	2 (1)	◎ 合計	435 (145)
◇ 公立大小計	22 (6)	◇ 就職	3 (1)
◇ 国公立大計	102 (34)		

257名の新入会員を迎えて

## 同窓会入会式

平成28年3月3日、平成27年度卒業生、全日制245名、定時制12名、計257名を迎えて、同窓会入会式が本校体育館で行われました。

大久保健二副会長が同窓会を代表して、歓迎と激励の挨拶をされた後、新入会員を代表して、久吉葉月さんから入会の決意表明がありました。新入会員のこれから活躍を大いに期待したいと思います。





同窓会寄贈の  
樟のテーブルとイス



大平正芳元総理の  
書と扁額  
(大平記念館から寄贈)



2016年7月28日  
荻田大樹選手オリンピック出場壮行式

すでに同窓生諸氏のもとに二十周年記念事業賛助募金趣意書が届いていることと思います。趣意書にもあるとおりこの募金は平成二十九年度に落成する新体育館の縞帳を同窓会が記念品として贈るためのものです。

新体育館は、その設計も完了し、いよいよ本格的に工事が始まろうとしています。この縞帳の原画の作者は昭和十四年に三中を卒業された田中岑(たなかたかし)氏です。昭和三十一年に、当時の洋画界では最高とされていた安井賞の第一回を受賞されました。氏は数々の画業を達成された後、平成二十六年に九十三歳でご逝去されました。



田中峯「廻双つ」

## 新体育館の緞帳について

詳しい画歴については

Wikipedia

平成一十七年度  
事業報告

8	7	6	5	4	3	2
支部総会						
在校生に対する育英事業						
奨学金七二〇、〇〇〇円						
学校・生徒への援助事業						
年会費の徴収						
五、四〇六、〇〇〇円						
同窓会報の発行						
平成二十七年十月一日発行						
二二、一〇一部発送						
ホームページの更新						
平成二十七年度卒業生住所調査						
平成二十八年三月実施						
その他						

① コンビニで振り込む  
金額欄の訂正は出来ません。  
ご家族の会員は、それぞれ  
の用紙で別々に振り込んで  
いただくことになります。

② 郵便局で振り込む  
金額欄を訂正して、家族の会員を一枚にまとめることができます。  
通信欄には、必ずそれぞれの会員の卒年と氏名をお書きください。

## 事務局からのお知らせと会費納入について

最近、会員名簿発行の時期に合わせ、観一同窓会事務局と名乗って、広告・寄附金の勧誘や、現住所を聞いてくることがあるようです。観一同窓会からの連絡は、すべて株サラトを通じて会長名で出しています。ご注意ください。

平成28年度会費は1,000円です。

同窓会は、会員の皆様に納入していただいた会費によって運営されています。コンビニか郵便局から振り込みいただき、今後とも同窓会の活動にご協力ください。また、同一住所会員は一つにまとめてお送りしています。家族会員の方は、左記のいずれかの方法でご入金ください。

なお、振込用紙は平成29年8月末まで有効ですが、会費の納入は**平成28年12月15日**までにお願いします。